

第 27 回造血器腫瘍研究会プログラム

1 日目：2023 年 1 月 19 日（木）12:55～18:20（受付開始 11:30～）

2 日目：2023 年 1 月 20 日（金）8:30～12:10

参加費：1,000 円/懇親会費：6,000 円

会場：広島大学 広仁会館（広島大学病院敷地内）
広島市南区霞 1-2-3

世話人：広島大学 原爆放射線医科学研究所 稲葉 俊哉

第 27 回造血器腫瘍研究会事務局

〒734-8553 広島県広島市南区霞 1-2-3

広島大学 原爆放射線医科学研究所 がん分子病態研究分野内

TEL：082-257-5837

FAX：082-256-7103

E-mail：hematopoietictumor27@gmail.com

会場へのアクセス

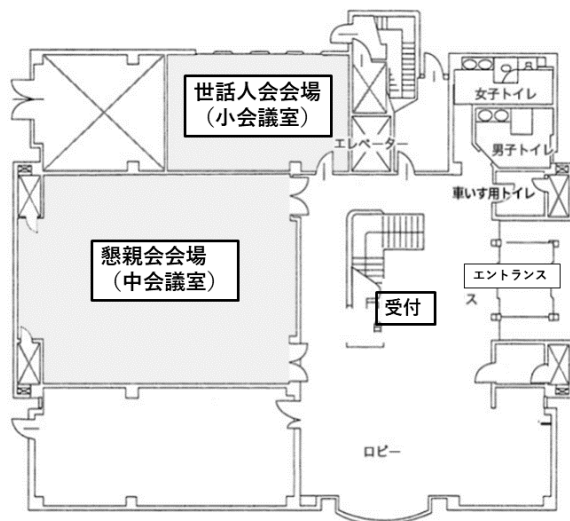


■ バス
 広島駅（南口）B ホーム
 10 番のりばより、
 まちのわループ右回り線に
 乗車、「大学病院前」で下車
 （約 15 分 220 円）

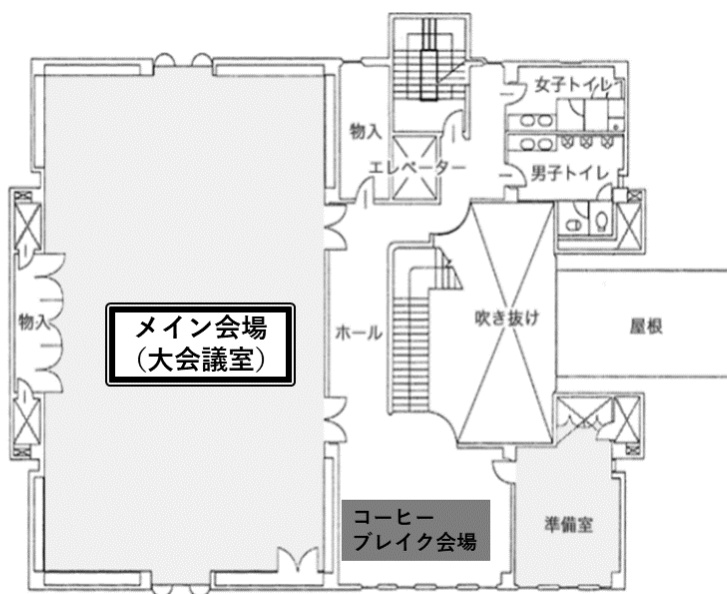
■ タクシー
 広島駅（新幹線口）タクシー
 乗り場から乗車、大学病院で
 下車
 （約 15 分 1,000 円）

※ キャンパス内の移動には Google マップのルート案内がご利用いただけます。
 （出発地は「現在地」、到着地は「広仁会館」を入力）

会場のご案内



1F



2F

発表用 PC・変換コネクタについて

ご自身の PC(Windows/Mac)を持ち込んでください。
プロジェクターとの接続は VGA 端子(D-Sub15 ピン)となります。
機種によっては変換コネクタが必要となりますので、各自ご用意ください。
音声出力には対応しておりません。
バッテリー切れにならないよう、電源アダプタをご持参ください。
発表中は演台上にてご自身で操作をしてください。



発表時間

発表時間は 12 分、質疑は 3 分です。
※休憩時間に試写をお願いします。

WiFi

学術無線 LAN ローミング基盤サービス (eduroam JP) を利用したインターネット接続が可能です。

受付開始時間

1 月 19 日 (木) 11:30~
1 月 20 日 (金) 8:00~

参加費

1,000 円

懇親会

広仁会館 1 階 中会議室 (18:30~)
懇親会費 6,000 円
※会場での参加受付時に現金でのお支払いをお願いします。

世話人会

1 月 19 日 (木) 11:50~12:40
お弁当を出します (1,500 円)。

【1日目】

■ 11:30~ 受付開始

■ 12:55~13:00 開会の挨拶 稲葉 俊哉

■ 13:00~14:00 AML ① (座長：松井 啓隆)

1. 細胞周期調節因子の発現抑制を介する MLL 関連白血病の分子病態の解析
中村彰秀 (なかむらあきひで)^{1,2}、野阪哲哉¹、小埜良一¹
(¹三重大学 感染症制御医学・分子遺伝学、²同 血液・腫瘍内科)
2. AF10 fusion による白血病化のメカニズムと新規治療法
横山明彦 (よこやまあきひこ)¹、小俣洋介¹、金井昭教²、前田高宏³、稲葉俊哉⁴
(¹国立がん研究センター・鶴岡連携研究拠点、²東京大学、³九州大学、⁴広島大学)
3. 急性骨髄性白血病発症における NPMc の作用機序
北林一生 (きたばやし いっせい)¹、相川祐規子¹、山形和恒¹
(¹国立がん研究センター研究所 造血器腫瘍研究分野)
4. p53 変異の誤解を解く AML モデル解析
西村耕太郎 (にしむらこうたろう)¹、臧維嘉¹、小池優依¹、井上大地¹
(¹神戸医療産業都市推進機構先端医療研究センター 血液・腫瘍研究部)

■ 14:00~14:45 AML ② (座長：横山 明彦)

5. 急性骨髄性白血病における脂質代謝経路の役割
山形和恒 (やまがたかずつね)¹、北林一生¹
(¹国立がん、研究所・造血器腫瘍)
6. Elov16 is crucial for hematopoietic cell engraftment and leukemia propagation
清木祐介 (きよきゆうすけ)
(筑波大学 血液内科)
7. DDX41 によるスプライシング・転写伸長の協調と DNA 複製ストレスの抑制
神力悟 (しんりきさとる)¹、平山真弓²、SaruulTungalag¹、長町安希子³、金井昭教⁴、

横山明彦⁵、稲葉俊哉³、松井啓隆¹

(¹熊本大学 臨床病態解析学、²熊本大学 白血病転写制御研究室、³広島大学、⁴東京大学、⁵国立がん研究センター)

■ 14:45~15:15 休憩

■ 15:15~16:15 造血制御 ① (座長：指田 吾郎)

8. 樹状細胞分化において Irf8 遺伝子発現を誘導するエンハンサー群の動的制御機構の解明

山崎貴弥 (やまさきたかや)

(横浜市立大学 免疫学教室)

9. 造血幹細胞は卵黄嚢で発生するのか

横溝智雅 (よこみぞともまさ)

(東京女子医科大学)

10. miR-195 による EBF1 欠損細胞での B 細胞分化補完

宮竹佑治 (みやたけゆうじ)¹、幸谷愛²

(^{1,2}東海大学)

11. HMGA による造血幹細胞制御機構の解析

久保田翔 (くぼたしょう)¹、白潔¹、森井真理子¹、平山真弓¹、指田吾郎¹

(¹熊本大学 国際先端医学研究機構)

■ 16:15~17:15 創薬 (座長：平尾 敦)

12. CML の育薬

木村晋也 (きむらしんや)

(佐賀大学医学部 血液・呼吸器・腫瘍内科)

13. 劇症型 NK 細胞白血病に対する新規治療法の開発：トランスフェリン受容体 1 阻害の抗腫瘍効果

柳谷稜 (やなぎやりょう)

(東海大学医学部先端医療科学)

14. リソソーム活性に依存した白血病分化制御機構の解明と新規治療法の開発
上野将也（うえのまさや）¹、平尾敦¹
（¹金沢大学 がん進展制御研究所 遺伝子・染色体構築研究分野）
15. T細胞の腫瘍化とDNA脱メチル化剤耐性化におけるピリミジン代謝変換
渡邊達郎（わたなべたつろう）¹、木村晋也^{1,2}
（¹佐賀大学 創薬科学共同研究講座、²佐賀大学医学部 血液・呼吸器・腫瘍内科）

■ 17:15~17:30 Group photo

■ 17:30~18:20 特別講演（座長：稲葉 俊哉）

東大医科研癌防御シグナル分野 中西 真
「老化細胞を標的として加齢病態を改善する」

■ 18:30~ 懇親会

【2日目】

■ 8:30~9:30 AML ③（座長：合山 進）

16. Cop1 は白血病発症と造血において Trib1 依存のおよび非依存的に機能する
角南義孝（すなみよしたか）、中村卓郎
（東京医科大学 医学総合研究所）
17. EVI1 は cyclin D1 を介して AML の免疫回避的微小環境を形成する
正本庸介（まさもとようすけ）¹、千葉晶輝¹、水野秀明¹、日野俊哉¹、林田裕樹¹、佐藤智彦^{1,2}、黒川峰夫¹
（¹東京大学医学部附属病院 血液・腫瘍内科、²東京慈恵会医科大学附属病院 輸血・細胞治療部）
18. MECOM 症候群で認められる変異は、MECOM の転写活性化能及び造腫瘍性を喪失させる
飯田孝平（いいだこうへい）¹、山本圭太¹、浅田修平²、北村俊雄²、合山進¹
（¹東京大学大学院新領域創成科学研究科 先進分子腫瘍学分野、²東京大学医科学研究所先端医療研究センター 細胞療法分野/幹細胞シグナル制御分野）

19. Identification of tumor regulators in myeloid neoplasms using in vivo CRISPR-Cas9 screening

Yu-Hsuan Chang^{1,2}, Takeshi Fujino¹, Toshio Kitamura¹, Susumu Goyama²

(¹Graduate School of Pharmaceutical Sciences, The University of Tokyo,

²Division of Molecular Oncology Department of Computational Biology and Medical Sciences, Graduate School of Frontier Sciences The University of Tokyo)

■ 9:30~10:15 造血制御 ② (座長：清水 律子)

20. ファンconi貧血におけるミトコンドリア機能遷移の検討

望月牧子 (もちづきまきこ)¹、石津綾子¹

(¹東京女子医科大学 形態解剖学)

21. 好塩基球・好酸球数に影響を与える GATA2 遺伝子遠位造血エンハンサーバリエント

鈴木未来子 (すずきみきこ)¹、佐藤佳歩²、野本恵莉香²、日高高徳³、大根田絹子³、山本雅之³、清水律子^{2,3}

(¹東北大学 RI センター、²東北大学分子血液学、³東北大学メディカル・メガバンク機構)

22. 造血における SETBP1 の生物学的役割を探して

田中淳 (たなかあつし)¹、西村耕太郎¹、昆彩奈²、竹田淳恵²、山崎博未¹、小川誠司²、井上大地¹

(¹神戸医療産業都市推進機構先端医療研究センター 血液・腫瘍研究部、²京都大学大学院医学研究科 腫瘍生物学講座)

■ 10:15~10:45 休憩

■ 10:45~12:00 CML・MPN・MDS (座長：幸谷 愛)

23. 慢性骨髄性白血病の無治療寛解維持に及ぼす KIR/HLA 遺伝子多型について (DOMEST, DADI, first-line DADI 試験のサブ解析)

嬉野博志 (うれしのひろし)¹、蒲池和晴²、木村晋也³

(¹広島大学 血液内科、²唐津赤十字病院 内科、³佐賀大学 血液腫瘍内科)

24. GATA1 遺伝子変異と STAG2 遺伝子変異の協調は異常な巨核球産生を介して致死性の骨髄線維症を誘発する

鈴木雄太郎（すずきゆうたろう）

（東京大学医科学研究所 幹細胞分子医学）

25. クロマチン特性解析による骨髄異形成症候群の病態解明

大島基彦（おおしまもとひこ）¹、高山直也²、中島やえ子¹、小出周平¹、原田浩徳³、原田結花⁴、岩間厚志¹

（¹東京大学医科学研究所 幹細胞治療研究センター 幹細胞分子医学分野、²千葉大学大学院医学研究院 先端研究部門 イノベーション再生医学、³東京薬科大学 腫瘍医科学研究室、⁴駒込病院 臨床試験科）

26. SAMD9/9L 症候群における TGF β シグナル応答の異常

長町安希子（ながまちあきこ）¹、金井昭教²、神力悟³、松井啓隆³、伊川友活⁴、稲葉俊哉¹

（¹広島大学 原医研、²東京大学、³熊本大学、⁴東京理科大学）

27. ミトコンドリア動態異常に着目したクローン性造血および MDS の新規診断法開発

青柳泰成（あおやぎやすしげ）¹、林嘉宏¹、松沼菜摘¹、小林大貴¹、原田結花²、原田浩徳¹

（¹東京薬科大学 生命科学部 腫瘍医科学研究室、²がん感染症センター都立駒込病院 臨床検査科）

■ 12:00~12:05 次期世話人の挨拶

■ 12:05~12:10 閉会の挨拶 北林 一生